

# 簡易な収入(所得)額の申立書(申請者本人用) 【公的年金給付等受給者①】

《父又は母》

- 「子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒に提出してください。  
※申請者の生活を経済的に支えている扶養義務者などがある場合は、その方の年間収入見込額も勘案して給付を決定します。
- ③の【要件】を満たす場合に給付の対象となります。

## ①申請者の前々年(2020年(令和2年)1月~2020年(令和2年)12月)の年間収入の内訳をご記入ください。

		金額				円	注意事項
収入内訳	養育費【A】					円	※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
	給与収入【B】					円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※課税証明書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	事業収入又は不動産収入【C】					円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	年金相当収入【D】 (a-b)					円	※年金収入【a】-児童扶養手当相当額【b】で計算した額をご記入ください。
	年金収入【a】					円	※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
	児童扶養手当相当額【b】					円	※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等を有する場合、別添の記入例を確認いただき、該当する金額をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

## ②前々年(2020年(令和2年)1月~2020年(令和2年)12月)の年間収入の合計額をご記入ください。

年間収入額 【A + B + C + D】						円
--------------------------	--	--	--	--	--	---

## ③要件に該当するか確認してください。

(1) 申請者が生計を同じくし養っている親族(児童を含む)又は養っている親族以外の児童(2020年(令和2年)12月31日時点)の名前をご記入ください。

(2) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

	フリガナ 名前	該当する場合は◎又は○	
		16歳以上23歳未満の親族(◎)	70歳以上の親族、配偶者(○)
1			
2			
3			
4			
5			

i 基準額※ \_\_\_\_\_ 円

ii (1) の◎の数×150,000円 \_\_\_\_\_ 円

iii (1) の○の数×100,000円 \_\_\_\_\_ 円

収入基準額 (i + ii + iii) \_\_\_\_\_ 円

∨

年間収入額(②) \_\_\_\_\_ 円

※記入例を確認いただき、該当する基準額をご記入ください。

**【要件】②の年間収入額が収入基準額より低いこと。**

⇒これを満たす場合、裏面は下部の確認事項のみご記入ください。

**【要件】を満たさない場合でも、裏面の【所得要件】を満たすことにより給付の対象となります。**

(3) 控除等をご記入ください。

②の年間収入額のうち、養育費に係る控除の額（前々年分）												
養育費を記入した方【E】											円	※養育費の20%の金額をご記入ください。 ※1円未満の端数が生じる場合は四捨五入してください。
②の年間収入額のうち、給与収入に係る給与所得控除の額（前々年分）												
給与収入を記入した方【F】											円	※前々年（2020年（令和2年）1月～2020年（令和2年）12月）の控除額をご記入ください。
②の年間収入額のうち、事業収入、不動産収入に係る必要経費の額（前々年分）												
事業収入又は不動産収入を記入した方【G】											円	※前々年（2020年（令和2年）1月～2020年（令和2年）12月）の経費をご記入ください。 ※帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。
②の年間収入額のうち、公的年金等収入に公的年金等控除の額（前々年分）												
年金収入を記入した方【H】											円	※別添の記入例を確認いただき、計算の上、ご記入ください。
社会保険料相当額												
【I】				8	0	0	0	0			円	※一律に8万円の控除となるため、記載不要です。

その他の控除													
項番	控除額						項番	控除額					
						円							円
						円							円
						円							円
その他控除額合計【J】												円	

※課税証明書などに記載のある控除のうち、別添の「控除対象一覧」に該当するものの項番及び金額をご記入ください。

各控除等の控除後の年間所得額 ② - ( E + F + G + H + I + J )											
【K】											円

(4) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i 基準額※	_____	円
ii (1) の◎の数×150,000円	_____	円
iii (1) の○の数×100,000円	_____	円
<b>所得基準額 ( i + ii + iii )</b>	<b>_____</b>	<b>円</b>
	<b>V</b>	
<b>年間所得額 (K)</b>	<b>_____</b>	<b>円</b>

※記入例を確認いただき、該当する基準額をご記入ください。

→【所得要件】Kの年間所得額が所得基準額より低いこと。□

※年間所得額が所得基準額を上回る場合でも、家計急変者用の申請をいただくことで給付金の対象となる場合があります。

【確認事項】（各項目のチェック欄（□）に『✓』を入れていただき、名前をご記入ください。）

<input type="checkbox"/> 【要件】に該当します。 <input type="checkbox"/> 収入額が分かる書類（課税証明書や年金額改定通知書等）を提出しています。 <input type="checkbox"/> 本申立の内容に相違ありません。	
年 月 日	申請者名前

# 簡易な収入(所得)額の申立書(申請者本人用)

## 【公的年金給付等受給者②】

《養育者》

- 「子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒に提出してください。  
 ※申請者の生活を経済的に支えている扶養義務者などがある場合は、その方の年間収入見込額も勘案して給付を決定します。
- ③の【要件】を満たす場合に給付の対象となります。

### ①申請者の前々年(2020年(令和2年)1月~2020年(令和2年)12月)の年間収入の内訳をご記入ください。

		金額										円	注意事項	
収入内訳	養育費【A】													※養育費の支給を受けている場合にご記入ください。
	給与収入【B】													※給与収入がある場合にご記入ください。 ※ <b>課税証明書</b> などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	事業収入又は不動産収入【C】													※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※ <b>帳簿</b> などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	年金相当収入【D】 (a-b)													※年金収入【a】-児童扶養手当相当額【b】で計算した額をご記入ください。
	年金収入【a】													※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。
	児童扶養手当相当額【b】													※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等を有する場合は、別添の記入例を確認いただき、該当する金額をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

### ②前々年(2020年(令和2年)1月~2020年(令和2年)12月)の年間収入の合計額をご記入ください。

年間収入額 【A + B + C + D】												円
--------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

### ③要件に該当するか確認してください。

(1) 申請者が生計を同じくし養っている親族(児童を含む)又は養っている親族以外の児童(2020年(令和2年)12月31日時点)の名前をご記入ください。

	フリガナ	該当する場合は○
	名前	70歳以上(配偶者以外)の親族(○)
1		
2		
3		
4		
5		

(2) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i 基準額※ \_\_\_\_\_ 円

ii (1)の○の数×60,000円 \_\_\_\_\_ 円

(○以外の名前がない場合は、○の数を1つ減らして計算)

**収入基準額 (i + ii)** \_\_\_\_\_ 円

V

**年間収入見込額 (②)** \_\_\_\_\_ 円

※記入例を確認いただき、該当する基準額をご記入ください。

→【要件】②の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。  
 ⇒これを満たす場合、裏面は下部の確認事項のみご記入ください。

【要件】を満たさない場合でも、裏面の【所得要件】を満たすことにより給付の対象となります。

(3) 控除等をご記入ください。

②の年間収入額のうち、養育費に係る控除の額（前々年分）											
養育費を記入した方【E】										円	※養育費の20%の金額をご記入ください。 ※1円未満の端数が生じる場合は四捨五入してください。
②の年間収入額のうち、給与収入に係る給与所得控除の額（前々年分）											
給与収入を記入した方【F】										円	※前々年（2020年（令和2年）1月～2020年（令和2年）12月）の控除額をご記入ください。
②の年間収入額のうち、事業収入、不動産収入に係る必要経費の額（前々年分）											
事業収入又は不動産収入を記入した方【G】										円	※前々年（2020年（令和2年）1月～2020年（令和2年）12月）の経費をご記入ください。 ※帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。
②の年間収入額のうち、公的年金等収入に公的年金等控除の額（前々年分）											
年金収入を記入した方【H】										円	※別添の記入例を確認いただき、計算の上、ご記入ください。
社会保険料相当額											
【I】				8	0	0	0	0		円	※一律に8万円の控除となるため、記載不要です。

その他の控除																					
項番	控除額										項番	控除額									
										円											円
										円											円
										円											円
その他控除額合計【J】																					円

※課税証明書などに記載のある控除のうち、別添の「控除対象一覧」に該当するものの項番及び金額をご記入ください。

各控除等の控除後の年間所得額 ② - ( E + F + G + H + I + J )										
【K】										円

(4) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i 基準額※ \_\_\_\_\_ 円

ii (1) の○の数×60,000円 \_\_\_\_\_ 円

(○以外の名前がない場合は、○の数を1つ減らして計算)

所得基準額 ( i + ii ) \_\_\_\_\_ 円

∨

年間所得額 (K) \_\_\_\_\_ 円

※記入例を確認いただき、該当する基準額をご記入ください。

→【所得要件】Kの年間所得額が所得基準額より低いこと。

※年間所得額が所得基準額を上回る場合でも、家計急変者用の申請をいただくことで給付金の対象となる場合があります。

【確認事項】（各項目のチェック欄（□）に『✓』を入れていただき、名前をご記入ください。）

- 【要件】に該当します。
- 収入額が分かる書類（課税証明書や年金額改定通知書等）を提出しています。
- 本申立の内容に相違ありません。

年 月 日

申請者名前

# 簡易な収入(所得)額の申立書(扶養義務者用) 【公的年金給付等受給者③】

- 「子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)申請書(請求書)」と一緒にご提出ください。
- 【要件】を満たす場合に給付の対象となります。  
※申請者本人の年間収入(所得)見込額も勘案して給付を決定します。

### ①扶養義務者のうち、申請時点で最も所得の高い方の名前と続柄をご記入ください。

名前	(続柄)
----	------

### ②①で記入した方の前々年(2020年(令和2年)1月~2020年(令和2年)12月)の年間収入の内訳をご記入ください。

	金額	注意事項
給与収入【A】		※給与収入がある場合にご記入ください。 ※ <b>課税証明書</b> などの収入額が分かる書類をご提出ください。
事業収入又は不動産収入【B】		※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※ <b>帳簿</b> などの収入額が分かる書類をご提出ください。
年金収入【C】		※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書, 年金額改定通知書, 年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

### ③前々年(2020年(令和2年)1月~2020年(令和2年)12月)の年間収入の合計額をご記入ください。

年間収入額 【A + B + C】	
----------------------	--

### ④要件に該当するか確認してください。

(1) ①で記入した方が生計を同じくし養っている親族(2020年(令和2年)12月31日時点)の名前をご記入ください。

	フリガナ	該当する場合は○
	名前	70歳以上(配偶者以外)の親族(○)
1		
2		
3		
4		
5		

(2) 要件に該当するかの計算をおこなってください。

i 基準額※ \_\_\_\_\_ 円

ii (1)の○の数×60,000円 \_\_\_\_\_ 円  
(○以外の名前がない場合は、○の数を1つ減らして計算)

**収入基準額 (i + ii)** \_\_\_\_\_ 円

V

**年間収入額 (③)** \_\_\_\_\_ 円

※記入例を確認いただき、該当する基準額をご記入ください。

→【要件】③の年間収入額が収入基準額より低いこと。

⇒これを満たす場合、裏面は下部の確認事項のみご記入ください。

【要件】を満たさない場合でも、裏面の【所得要件】を満たすことにより給付の対象となります。

(3) 控除等をご記入ください。

③の年間収入額のうち、給与収入に係る給与所得控除の額（前々年分）												
給与収入を記入した方【D】											円	※前々年（2020年（令和2年）1月～2020年（令和2年）12月）の控除額をご記入ください。
③の年間収入額のうち、事業収入、不動産収入に係る必要経費の額（前々年分）												
事業収入又は不動産収入を記入した方【E】											円	※前々年（2020年（令和2年）1月～2020年（令和2年）12月）の経費をご記入ください。 ※帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。
③の年間収入額のうち、公的年金等収入に公的年金等控除の額（前々年分）												
年金収入を記入した方【F】											円	※別添の記入例を確認いただき、計算の上、ご記入ください。
社会保険料相当額												
【G】				8	0	0	0	0			円	※一律に8万円の控除となるため、記載不要です。

その他の控除													
項番	控除額						項番	控除額					
						円							円
						円							円
						円							円
その他控除額合計【H】												円	

※課税証明書などに記載のある控除のうち、別添の「控除対象一覧」に該当するものの項番及び金額をご記入ください。

各控除等の控除後の年間所得額 $\textcircled{3} - (D + E + F + G + H)$												
【I】											円	

(4) 要件に該当するかを計算をおこなってください。

i 基準額※ 円

ii (1) の○の数×60,000円 円

(○以外の名前がない場合は、○の数を1つ減らして計算)

所得基準額 (i + ii) 円

V

年間所得額 (I) 円

※記入例を確認いただき、該当する基準額をご記入ください。

→【所得要件】Iの年間所得額が所得基準額より低いこと。

※年間所得額が所得基準額を上回る場合でも、家計急変者用の申請をいただくことで給付金の対象となる場合があります。

【確認事項】（各項目のチェック欄（□）に『✓』を入れていただき、名前をご記入ください。）

- 【要件】に該当します。
- 収入額が分かる書類（課税証明書や年金額改定通知書等）を提出しています。
- 給付金の給付要件の該当性等を審査等するため、福山市が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- 本申立の内容に相違ありません。

年 月 日

申請者名前

扶養義務者名前